

実質公債費比率が危険ラインの十八%を超

実質単年度収支は約八千万円の黒字

議会は九月十日から二十六日までの定例会において、議員全員による十九年度決算審査特別委員会を設置し、五日間の日程で慎重に審査しました。

本町の財政は財政健全度を示す指標の一つである実質公債費比率が二十一・一%で危険ラインの十八%を超えており、昨年に続いて起債の借入れに許可がおりません。実質単年度収支は約八千万円の黒字であります。さらなる努力が必要です。

委員会最終日の九月二十二日に各常任委員会ごとの審査意見を調整し、特別委員会として審査意見を付し、認定することとしました。

決算審査意見

- 一、土地開発公社所有の土地については三年を目途に企業誘致を実施するか、または、町が買い戻すなど何らかの対策を講じられたい。
- 二、町観光の拠点である柗水高原地区の美観等を守るため、高原ホテルの処理について何らかの対策を講じられたい。
- 三、企業誘致事業については他町に負けない奇抜な政策など、更なる促進を講じられたい。

- 四、町税等徴収業務の成果は出ているが、今後は法的手段も視野に入れるなど更なる徴収努力をされたい。
- 五、園児の入所基準の見直しをされたい。
- 六、保育士等臨時職員の雇用形態の見直しをされたい。
- 七、ガン検診、住民健診の受診率の向上と充実を図られたい。
- 八、税改正によって非課税世帯から課税世帯となった対象者への福祉制度の適用基準の見直しをされたい。
- 九、まめまめクラブの充実を図られたい。

決算審査特別委員会

- 十、分庁舎での相談体制を確立されたい。
- 十一、給食会計の見直しをされたい。
- 十二、美術館の運営方針を早期に示されたい。
- 十三、溝口保育所の車両の進入路と駐車場の確保をされたい。
- 十四、町営公園墓地の区画の増設を図られたい。
- 十五、ゴミステーション化については今後も継続し推進されたい。
- 十六、清水の里団地及び工業団地等の販売促進を図るため所管体制を強化されたい。



溝口保育所

決算に対する討論(要旨)

反対します

幅田千富美

合併三年目、自治体リストラ、三位一体改革で、一般会計は合併前と比べ約十六億円減の決算が地域経済を疲弊させ、地域間格差を拡げた。

その中であって、こしき保育所、八郷学童クラブ、循環バスの導入などが、評価すべき事業はあるが、企業倒産や米価の下落、住民税増税など町民が苦しんでいるのに、上下水道料金、負担金の引上げ、あらゆる住民サービスと補助金カット、職員リストラ、給与のカット、公共施設は指定管理におきかえ、利用料金は引上げられた。七十五才で差別する後期高齢者医療保険が準備され、すべての面で町民、職員に痛みがおしつけられた。その一方

賛成します

野坂明典

合併協定に基づく建設事業を苦しい財政の中で実施された。

溝口地区では駅前整備、谷川線などの道路改良とライフラインである水道

整備が着実に実施された。岸本地区では懸案であった「こしき保育所」を建設し子育てに対する要望に応えたことは地区住民に喜ばれている。

今年度の補正予算で耐震工事に備えて二億三千万円を公共施設整備基金に積み立てたことは評価する。

新しい財政指標である総合収支比率が健全とされる十八%を大きく超える二十一・一%になっている。これは合併前の両町の借金が多かったことが原因である。国の三位一体の改革の名のもと税源移譲は僅かで、地方交付税の減額が予想以上の厳しいものとなっている。

十九年度決算は行財政改革を実施しながらライフライン、道路等の生活基盤整備と福祉事業を展開して成果をあげた決算であり賛成する。